

★ URLエンコードのしくみ★

URLで使えない文字を運ぶ

URLには使える文字が決まっている。

使えない文字を「%+番号」に置きかえて安全に運ぶのがURLエンコード。



1 なぜ必要？

URLには制約がある。

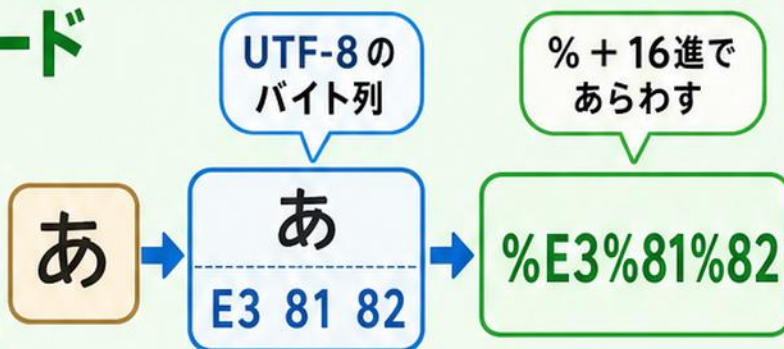
- 使える文字が決まっている
- 空白や日本語はそのまま使えない
- ? & = は特別な意味



2 パーセントエンコード

%と16進であらわす。

- % + 16進2けた
- 空白 → %20
- 1文字をUTF-8のバイトごとに



3 例

代表的な変換。

- あ → %E3%81%82
- スペース → %20
- # → %23

文字	エンコード後
あ	%E3%81%82
スペース (空白)	%20
# (シャープ)	%23

4 使う場面

身近な所で。

- 検索キーワード
- 日本語をふくむURL
- フォーム送信

かわいい猫

検索



https://example.com/search?q=かわいい%20猫

使えない文字は **%+番号** で運ぶ

